

革新的エネルギー機能を発現する界面ナノ物質プロセッシング

主催：物質・デバイス領域共同研究拠点

特定研究課題 A-2 「革新的エネルギー機能を発現する界面ナノ物質の創製」

共催：内閣府最先端研究開発支援プログラム

「高性能蓄電デバイス創製に向けた革新的基盤研究」

協賛：東北大学多元研サステナブル理工学研究センター

日時：2013年3月7日（木）

場所：東北大学多元物質科学研究所（宮城県仙台市片平2-1-1）

材料物性棟1階 大会議室

2013年3月7日（木）

10:20～10:25 開会の挨拶 「特定研究課題のミッション」
東北大学 多元物質科学研究所 本間 格

セッションⅠ 界面ナノ物質プロセッシングの新展開

10:25～10:50 「メカノケミカル法を活用した機能素材プロセッシング」
東北大学 多元物質科学研究所 加納 純也

10:50～11:15 「超臨界流体を活用した太陽電池材料プロセッシング」
東北大学 多元物質科学研究所 筈居 高明

11:15～11:40 「エピタキシャル薄膜を活用したLiイオン電池界面研究」
東北大学 原子分子材料科学高等研究機構（WPⅠ）
一杉 太郎

セッションⅡ 招待講演： エネルギーデバイス界面技術の新展開

11:40～12:10 「InGaN薄膜の欠陥評価と光電変換特性」
（独）物質・材料研究機構（NIMS） 角谷正友

オーガナイザー、問い合わせ先

本間 格（東北大学 多元物質科学研究所）

高山（秘書） takayama@tagen.tohoku.ac.jp

電話： 022-217-5815